

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	国際交流事業		130116	担当課	まちづくり推進課	
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	芦田 直也	
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	84	頁
	施策の大綱	ユニバーサル社会の形成			関連計画等	-	
	施策名	外国籍市民が住みやすく訪れやすい環境を整備する			根拠法令等		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	外国籍市民と日本国籍市民が相互理解を深めながら、お互いに快適に暮らすことが出来る「誰にも優しい国際化」及び市民が自ら地球的視野に立って考え、行動することが出来る「市民参加の国際化」を図り、誰もが幸せを感じることが出来る多文化共生社会の実現を目的とする。					
	対象者	市民	対象者数	79,000	一人当たりコスト	0.00	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>					
	事業概要	■外国籍市民等が福知山市で安心・安全に生活し市民と交流を図ることのできる事業を実施する。 ■平成29年度事業概要 ・市民公共施設を活用した講座の実施(防災センター・環境パークで避難行動やゴミ分別等の研修) ・国際交流ネットワーク会議の運営 ・国際交流活動ボランティアの運営 ・日本語教室の支援					
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費	
		旅費	京都府国際センターの会議等出席			22	
報償費		国際交流発表会講師謝礼			25		
需用費		消耗品			73		
役務費		郵送料			20		
使用料及び賃借料	バス借り上げ			38			
関連事業							
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①	266	218	178	161	
		補正予算等・・・②	△ 12	0	0		
		繰越し等・・・③	0	0	0		
	財源内訳	一般財源	254	218	178	161	
		国支出金	0	0	0		
		府支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		その他特財	0	0	0		
		特定財源名称(H29実績)				頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.20 / 0	0.10 / 0	0.10 / 0	/	
概算人件費・・・④		160	80	80			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		414	298	258			
執行状況	執行額・・・⑥		144	178			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		56.7%	81.7%			
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		イベント参加者数	人	146 / 100	138 / 100	/ 100	100
		国際交流ボランティア登録者数	人	64 / 70	64 / 70	/ 70	70
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		国際交流イベント回数	回	4 / 5	4 / 5	/ 5	5
		単位あたりコスト		63.5	44.5		
単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項 目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	本市に在住・滞在する外国籍の方が安心・安全に暮らせることは、人権の観点からも必要であり、利便性や安全性の向上につながるものであり、必要性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	国際交流ネットワーク会議が主体となり、民間活力により効率的な運営ができています。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	国際交流ボランティアと外国籍市民との交流により、国際感覚豊かな人材育成を図ることができる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	国際交流イベントの開催数及び参加者数の更なる増加とともに、事業を通じて多文化共生社会への理解・共感を促すことが必要である。	
	今後の課題及び方向性	○本市の多文化共生施策を推進する機関として、国際交流ネットワーク会議のあり方を検討する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見 ・日本語の理解が難しい外国籍の人へ適切に案内ができていないのか。 ・外国籍の人の参加状況を適宜把握し、国際交流が促進されているのか。 ・ボランティアによる活動のウェイトが大きいため予算額は小さいが、ボランティアの繋ぎ、コミュニティの必要性は大きいと思うので、市のかかわりが重要な事業ではないか。 ・堀会館の日本語教室がロコミで広まっているとのことですので、日本語教室の場を活用して国際交流事業のPRを行ってはいかがでしょうか ・市民が外国籍の方と交流できる良い機会となっている。更に交流の場が発展できるよう他部署と連携や周知を図り国際交流発表会等を盛り上げていければと考える。 ・ボランティア登録者名簿が形骸化されており、実態把握が必要。 ・交流以上に生活支援などの機能もあると感じました。本事業だけで外国籍の住人のみなさんのフォローすべて行うのはとても難しいと思われます。市全体として他文化共生に取り組むことができればよいと思います。 ・一部の事業で、真に参加してほしい人に参加いただけていない現状があったので、そこをどう掘り起こして参加につなげていけるかが課題と感じました。		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・市内在住の外国籍の人たちへ情報のPR方法として、市ホームページを有効活用（多国籍語対応）し、また市内日本語教室や福知山公立大学、その他ボランティア団体と連携を強化することで、外国籍の人たちのニーズを把握し、必要な情報を必要な人たちへ提供できる取組みを実施していく。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	